



2025年がスタートしました。へび年は、新しいことに挑戦するといい年と言われています。大人も子どもも何かにチャレンジして成長して

いけるといいですね。「脱皮しないへびは滅びる」というニーチェ（ドイツの哲学者）の言葉があります。始業式で子どもたちに、「4月からの新しい学年に向けて、今の皮を脱ぐためにがんばるのが3学期です。」という話をしました。3学期も子どもが前向きになる声かけをお願いします。

R6 児童生徒意識調査

2学期に姫路市が実施した、児童生徒意識調査の集計結果が届きました。市内の4年生以上の小中学生全員を対象にしたものです。去年もこの時期の学校だよりでお知らせしましたが、最初の質問は「学校は楽しいですか？」です。私も一番注視している項目です。結果は2年連続姫路市の平均よりも高くなりました。学校が楽しいということはとてもうれしいことです。ただ、クラスに1人か2人はそうでもないという児童がいるという数字です。引き続き100%をめざして子どもに寄り添いながらいろんな取組を進めていきます。



また、2問目の「学校の勉強はよくわかりますか？」に対する肯定的な回答は95.5%でした。統計を取り始めてから12年間で最も高いポイントになりました。これも学校としてとてもうれしい数字です。勉強がわかることが「学校が楽しい」につながっている部分も多いと考えます。他の設問もおおむね良好で、城東っ子が育っていることがよくわかる結果でした。

主体的に学ぶ

城東小学校では、自分で学びを進めていく時間を授業の中に採り入れていっています。

「調べ学習」「探究学習」「自己調整学習」「自由進度学習」と呼ばれるような学習形態です。めあてに対して、自分に合ったものを使い（タブレット、教科書、本、資料等）、自分に合った方法で（1人で、友達と、先生と）、自分のやりやすい場所で（教室で、廊下で、図書室で）、自分に合ったスピードで進めていきます。学校で知識を身に付けることはもちろん大切ですが、学び方を身に付けることはとても大事です。自ら学ぶ、主体的に学ぶ、楽しく学ぶには学び方を知らないが無理です。学び方を知れば、学校を卒業しても、どこにいても、誰といっても学び続けることができます。家庭でも挑戦してみてください。



「すみません」

冬休みのある日、姫路駅の北側を歩いていると、通り過ぎた後ろのほうで「すみません」という男の人の声が聞こえました。振り向いたんですが誰かわからなかったの、そのまま進んでいって、、、。やっぱり気になってその場所に戻ると、高校生ぐらいの2人が声をかけたと思われるおじいさんにコインロッカーの使い方を教えてあげていました。声を聞いたときにすぐ対応するべきだったと反省しました。2学期、城東小の子供たちが公園で困っている高齢の方を助けたり、落ちていた大切なものを学校や交番に届けてくれたりという善い行いが続けてありました。子供たちのお手本になるような、すぐに行動に移せる大人にならないといけない！と気を引き締めた新年早々の出来事でした。

